

研究課題【緩和ケアにおける薬剤師の副作用への介入】に関する Q&A について

【 調査シート① 】

Q: 勤務年数(現職場に限らない通算勤務年数)に、休職期間も含まれますか？

A: 休職期間は除いた勤務年数を記載してください。

Q: 担当患者というのはどのように解釈したらよいですか？

A: 個人で担当している場合、緩和ケアチーム等のチームで担当している場合のどちらも含まれます。

Q: 担当患者への介入頻度(平均回数/週)が、1 回未満とはどのような場合をさしますか？

A: たとえば、2 週間に 1 回程度の介入の場合は、週平均 1 回未満の介入とします。

【 調査シート② 】

Q: 介入期間中に起こった副作用と症状の強さについて、化学療法による副作用も該当しますか？

A: 該当します。

Q: 副作用が 2 つ以上ある場合はどのように記載したらよいですか？

A: 1 つの副作用に対して、1 つの情報収集シートを用いて介入内容を記載してください。

Q: 副作用の原因と思われる薬剤は、被疑薬も含みますか？

A: 含みます。被疑薬(未確定だが、疑われる場合)であっても商品名を記載してください。

Q: 副作用の原因と思われる薬剤名について、被疑薬はどのように記載したらよいですか。また、被疑薬が複数ある場合はどのように記載したらよいですか？

A: 被疑薬は全てを商品名で記載してください。記載例) オキシコンチン TR 錠 5mg、シスプラチン点滴静注 50mg

Q: 記入日(西暦)(介入日)について、調査期間前から介入を開始している場合は、調査対象期間前の日付を記入すれば良いですか？

A: 本研究の調査期間より前に介入を開始した症例は対象外となります。調査期間中に介入を開始した症例についてのみ記載してください。

Q: 提案内容について、回答者である薬剤師が、休みの期間に他の薬剤師が副作用に介入した場合はどうしたらよいですか？

A: 回答者以外の方の介入は記載しないでください。

Q: 提案内容について、2 種類以上の異なる副作用に対して、1 つの薬剤を提案した場合はどのように記載したらよいですか？

A: 1 つずつの症状に対して、介入を記載して下さい。副作用 A, B に対して薬剤 C を提案した場合、副作用 A について提案薬剤 C、副作用 B に対して提案薬剤 C と別々で記載してください。